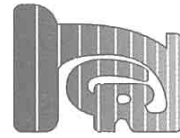


フィリア・レター

～ 真の友人からの手紙 ～



発行所:中部ろうさい病院

〒455-8530

名古屋市港区港明1-10-6

TEL 052-652-5511

FAX 052-653-3533

<http://www.chubuh.rofuku.go.jp/>



第23回名古屋市都市景観賞受賞について

中部ろうさい病院副院長 佐野 隆久

この度平成20年3月に落成いたしました当
中部ろうさい病院新館が
第23回名古屋市都市景観賞
を受賞いたしました。

名古屋市都市景観賞は個性豊かな、誇りと愛着のもてるまちをめざして、名古屋の優れた都市景観を表彰する制度です。

今回は応募総数309件の中から当院を含め7件が選ばれました。当院以外には、名古屋市公会堂・鶴舞公園・セントラルガーデン・四間道の町並みなどが選ばれております。

新病院は平成13年の建設構想以来8年の歳月をかけ完成いたしました。

新病院の建設の基本方針は

1. 病院機能の充実化：患者さま中心の医療サービスを最優先した病院、地域の中核病院としての機能整備、スタッフが活動しやすい機能的な施設構成、高度医療情報化社会を見据えた設備
2. アメニティの確保：ゆとりあるスペースの確保、やすらぎを感じられるインテリア、プライバシーの確保

3. 環境への配慮：環境負荷低減と省エネルギーを徹底したエコホスピタルの実現、周辺地域に対する環境保全と景観形成でした。

この方針に合致した病院が出来上がり、関連病院・診療所の各先生方ならびに当院をご利用していただいております患者さまのご支援により受賞できたものと感謝いたします。

当賞受賞を踏まえ、より充実した医療を目指し職員一同努力いたしますので、皆様がたには当院をより一層のご支援、ご利用いただきますよう、よろしく願いいたします。



今月号のお知らせ

- ①第23回名古屋市都市景観賞受賞について
.....中部ろうさい病院副院長 佐野 隆久
- ②新しい病気!?原因不明の慢性の痛み!!
線維筋痛症って何だろう
.....心療内科部長 勤労者メンタルヘルスセンター長 芦原 睦

- ③都市景観賞の受賞について
.....中部ろうさい病院事務局長 太田 勝訓
- ④中部ろうさい病院認定看護師のご紹介
- ④編集後記

医師



新しい病気!?!原因不明の慢性の痛み!! 線維筋痛症って何だろう

心療内科部長
勤労者メンタルヘルスセンター長

芦原 睦

最近、マスコミでも話題になっている線維筋痛症（Fibromyalgia：FM）という疾患をご存知でしょうか。原因不明の慢性の痛みが続き、全身の特徴的な圧痛点（押すと痛いポイント）18か所のうち11か所以上を認める疾患です。多くの痛みは、飛び上るほど痛いので、ジャンピングペイン（jumping pain）と呼ばれるほどです。線維筋接合部という所の痛みですので、関節リウマチ（RA）などの関節痛や多発性筋炎などの筋肉痛とは区別されます。

当科には、線維筋痛症を心配されて多くの方が受診されるのですが、確実に診断できるのは約半数です。実際の鑑別診断では、RAやリウマチ性多発性筋痛症というリウマチ・膠原病であったり、身体表現性疼痛障害という精神疾患であったりします。線維筋痛症はリウマチ科と心療内科の中間に

位置するような病態です。心理的な要因で痛みが出現したり、増強したりすること、患者さんにわかってもらうことが、もっとも対応に苦慮する点です。

また実際に線維筋痛症の半数の方が、うつ状態やうつ病を合併しています。うつ状態があるために、実際の痛みより、強く、つらく感じてしまう人も少なくありません。

治療は確立しておりませんので、試行錯誤を繰り返していますが、抗うつ薬（うつ病の有無にかかわらず）、抗けいれん薬などが痛みを和らげるとされています。

当科受診の場合、初診では約1時間お話を伺っていますので、必ず、予約をしていただきたく思います。

予約電話は 心療内科直通 052-652-5749 です。

「フィリア・レター」は、「中部ろうさい」病院が、患者さまに向けて当院の現況や新しい医療情報などを発信したり、患者さまの建設的な意見を反映する広場として発刊しています。



都市景観賞の受賞について



中部ろうさい病院事務局長 太田 勝訓

中部ろうさい病院
はこの度、名古屋市
都市景観賞を受賞し
ました！

名古屋市都市景観賞とは、個性豊かな、誇りと愛着のもてるまちを目指して、名古屋の優れた都市景観を表彰する制度です。昭和59年から実施しており今回で23回目になりますが、応募総数309件の中から、市民からの投票や幾多の審査を経て選ばれました。(表彰式は平成22年2月12日に開催される)

平成13年から進めてきた全面増改築工事も平成20年3月に終了し、4月から22診療科、稼働病床556床の名古屋市南西地域におけるセンター病院として新たにスタートしました。私共が重視したのはアメニティの充実でした。“心の癒される”“受診し易く働きやすい”“病院らしくない病院”をテーマに、病院の機能だけでなく院内外の居住空間など、建築素材からデザインに至るまで細部にこだわり完成した病院です。4階には(外来棟の屋上)約1,700㎡の屋上庭園に入院患者さんの療養にも配慮した散歩道を設けており、正面玄関前の約

3,400㎡には、芝生と木々のなかに木製ベンチと東屋及び遊歩道を配置した庭園を造り一般市民の人々にも開放しました。病院内部にも趣向を凝らしており、自然光をいっぱい取り入れた玄関ホールには有名作家によるステンドグラスや陶板画が壁面を飾り、病棟にも数多くの絵画や天井画(特別室)が描かれています。

殺風景な工業地帯に、鳥が大きな翼を拡げたような病院の建物とエコを随所に取り入れた約64,000㎡のオアシスを創出しました。国道に面した御影石の石垣沿い約300mには、春になると満開の花を咲かせた桜並木が来院者の目を楽しませるなど、病院を訪れる人々に安らぎを感じさせる癒しの環境を提供しております。

今回、当院が周辺環境に調和した魅力ある建築として多くの皆さんからご支持をいただき、名古屋市都市景観賞を受賞することができましたことに心から感謝申し上げますとともに、これからも地域の皆さんに「開かれた病院」と言われる病院を目指し、より充実した医療の提供に努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

中部ろうさい病院のホームページで、病院の情報 フィリア・レター ろうさい病院つうしんがご覧いただけます。携帯電話からもアクセスできます。どうぞ、ご利用ください。

…………… 看護部のページ ……………

中部ろうさい病院認定看護師のご紹介

皮膚・排泄ケア認定看護師

安 京子・櫻井 由妃子

私たちは、皮膚や排泄に関する問題をもつ方々に専門的な知識を基に看護の立場で関わっています。

床ズレや治りにくい傷、人工肛門、人工膀胱のケア、便や尿が漏れるなどで困っている方はありませんか？

床ズレ防止のためのマットレスの選び方や傷の処置、ストーマの処置方法などを入院患者さんや外来通院患者さんへ指導しています。

困ったことがあれば、スキンケア外来へ是非ご相談下さい。

集中ケア認定看護師

内山 泉

「集中治療室って…怖い？どんなところだと思いますか？」

沢山の医療機器に囲まれ、ピコッピコッと心電図の音が聞こえる。点滴の管に巻かれ、無機質な空間が漂うテレビドラマのような世界でしょうか？決してそうではありません。大きな手術を受けられた方や重篤な状況の方など様々な方が入院されます。このような患者さんの状態をきめ細やかに観察し、集中治療室を歩行してもらうこともあります。好きな音楽を聴きながら生活リズムを整えます。一日でも早く回復できるように、患者さんを守りご家族を支えています。

摂食・嚥下障害看護認定看護師 廣瀬 みゆき

食事中にむせる、水分でむせる、のみこみづらい、食事に1時間以上かかる、1食の量が十分に食べられない、体重が最近減ってきた等の症状が見られる場合、嚥下障害の可能性があります。嚥下障害のある方の食事形態・食事の食べ方・簡単な訓練を指導させていただきます。

感染管理認定看護師

小林 明美

「院内感染」という言葉を聞いたことがありますか？新型インフルエンザが流行した去年は、日本中でマスク不足になりました。現在でも当院は外来職員がマスクを着用しています。はしかや水ぼうそうにかかって受診する方や、手術後や治療中で抵抗力が落ちて感染しやすい方など当院にはいます。当院は、患者さんや職員が院内感染に「かからない！うつさない！」を目標に、感染対策の専門職（医師・看護師・検査技師・薬剤師）が中心になって職員教育を実施し感染対策に取り組んでいます。

緩和ケア認定看護師

渡邊 尚美

はじめまして、緩和ケア認定看護師の渡邊尚美です。さて皆さまは、『がん』と聞くと、どのようなことを想像されますか？『治るの？』『つらい』など様々な思いをもつのではないのでしょうか。緩和ケアは、がんと診断された時から治療と並行して始めることが望まれます。緩和ケア認定看護師が、そのような思いをもつ患者さんやご家族と共に、病気に向き合い、よりよい時期を過ごせるように、お手伝いをさせていただきます。また、当院では、緩和ケアチームが主治医などと協力をして活動しています。ぜひ、いつでもご相談ください。

がん化学療法看護認定看護師

後藤 真澄

がん化学療法とは、抗がん剤によるがん治療のことです。私は、抗がん剤治療を安全に、安心して、できるだけ楽に受けて頂けるようにお手伝いしています。点滴治療の方も飲み薬の抗がん剤の方も、副作用でお困りの事や、治療を始める不安、治療を続ける不安など何でもお気軽にご相談ください。抜け毛が気になる方には、ボランティアさん作成の帽子を無料で差し上げています。今の気持ちや思いをお話頂くだけでも、気持ちが楽になることもあります。一人で悩まず、一緒に治療していきましょう。

編集後記

今号は当院の都市景観受賞の話を中心に掲載させていただきました。建物はもちろんのこと、職員である私たち一人一人も皆さま方に喜んでいただける病院作りにますます励みたいと思いますので今後も当院にご期待下さい！

(F・S)

